

令和4年度第1回三島市文化財保護審議委員会 会議録

1 開催日時 令和4年7月22日(金) 午後1時30分から2時50分まで

2 開催場所 三島市民生涯学習センター5階 第4研修室

3 出席者

(1) 鈴木委員長、迫田副委員長、佐藤委員、魚尾委員、河内委員、廣瀬委員、増島委員、近藤委員

(2) 西島教育長、鈴木教育推進部長、寺田文化財課長、平林係長、菅原主事、近藤学芸員

4 会議の公開・非公開の別

公開

5 傍聴人の人数

0人

6 審議会の内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 報告事項

1. 令和4年3月に寄贈を受けた高梨勝瀨（たかなし しょうせい）の絵画2点について資料に沿って説明。河内委員解説のもと、全員で絵画を鑑賞。
2. 三島市文化財保存活用地域計画について、令和4年度から着手し、2か年の計画で策定する。専門の委員会で協議した後、文化財保護審議委員会へ諮る。
3. 山中城跡災害復旧事業及び山中城跡保存活用計画策定の進捗状況を報告。鈴木委員長から、機会があれば文化財保護審議委員で現地の視察をしたい旨意見があった。

(5) 質疑応答、意見等

1. 高梨勝瀨の絵画について

A委員 日本画の教材としても活用できるのではないか。

B委員 平成5年に、郷土資料館で三島市の作家を取り上げた企画展があり、パンフレットを持っている。この年代は美術関係の方がたくさん輩出されたのだとわかった。

C委員 大きいところから小さいところまで、よく観察できる人となりがわかるものだ。

D委員 絵画の近くに、絵の特徴や鑑賞のポイントなどの解説をつけてはどうか。

E委員 生涯学習センターの一角に、画廊のようなコーナーがあることはすばらしいことだ。

F委員 文化財は古いものでなければいけない、というものではない。見方がわかれば、他の作品を見るときにも役立つ。見る側の成長もあるので、何年かおきに同じ作品も繰り返し公開していくことも必要だ。活かすことは寄贈してくださった奥様の気持ちに答えることだ。

G委員 先日、中郷小学校で美術についての授業を行った。拵と合戦屏風の組み合わせや、絵画については原料となる鉱物を持って行った。どちらも大変興味をもっていただき、知る機会を小学生くらいのうちから得られるよう、発信者にとっては同じ内容でも繰り返ししていくことが大切だと実感した。

2. 三島市文化財保存活用地域計画について

寺田課長 文化財の掘り起こしや価値の再確認が必要になる。改めて、委員の皆さまのご協力をお願いする。

H委員 10年ほど前、市内の石造物の地図を作成した。一部掲載していない仏像や墓等があるが、産地の一覧にもなっているので必要があれば活用してほしい。

F委員 市内には石蔵があり、田町駅の周辺に三島町だったころのものがあるが、昨今なくなりつつある。東海道線で今の下土狩駅が三島駅だったころ、田町駅を起点に物資が運搬されていた。石蔵の中に屋号や看板などが保管されていて、三島の町の発展を物語るうえで石蔵そのものがこの計画の策定への切り込み口になると思う。北伊豆地震で看板建築が注目されたが地震そのものの記録も、そこからどんな教訓が得られるのかという点から調べていきたい。

F委員 野戦重砲兵連隊も大きな役割があり、軍都としての三島というのも挙げられる。文化財として指定を受けているものはないが、今後保存していく価値があるものと思う。

E委員 大場幼稚園の近くに、今は削られてしまったが、古墳の横穴がたくさんあった。昔の連隊の弾薬庫に使われていたとか。また、各地区の防空壕もだんだん崩れてきているが、連隊をもとにして関連するものの調査も、後世に伝えるべきものとして調査を進めるといいと思う。

以上

《所要時間 1時間20分》